

地域に視点をあてた事業展開 [児童]

# 保育所行事の地域への開放を通しての子育て支援

地域の子育て家庭の親子に、食事についての悩みを解決する機会を提供できないかと考え、保育所の行事へ子ども達と一緒に親子で参加していただく中で、希望により会食にも参加をすることができる取り組みを実施している。保育所が身近に感じられる機会になることを願い、保護者同士の交流の場の提供及び交流の促進を積極的に取り組んでいる。

京都府

社会福祉法人

みねやま福祉会

〒627-0024 京都府京丹後市峰山町室24 (ゆうかり乳児保育所)  
TEL : 0772-62-0045 FAX : 0772-62-6322

## ○法人設立年/昭和27年

## ○法人実施事業

- ①経営施設数合計：12施設  
②経営施設・事業【種別毎の数】：  
乳児院…1、児童養護施設…1、保育所…2、障害児通園施設（児童デイサービス事業）…2、精神障害者地域生活支援センター…1、特別養護老人ホーム…2、老人短期入所事業…2、老人デイサービス事業…2、在宅介護支援センター…1、老人居宅介護等事業…2、居宅介護支援事業…2、簡所、訪問入浴介護事業…1、身体障害者居宅介護等事業…1、児童居宅介護等事業…1、知的障害者居宅介護等事業…1、認知症対応型老人共同生活援助事業…2、小規模多機能型居宅介護事業…1、子育て短期支援事業…2

## ○法人の理念・経営方針

- <理念>  
・創設の理念を尊重し より質の高い福祉サービスの提供  
・地域の人々の ころ豊かで安心・安全な暮らしへの貢献  
・誇りと夢を持ち 福祉の仕事にまい進できるような職員の幸福追求  
<サービスの質（品質方針）>  
・私達はサービス提供のすべての場面で「管理より生活を」大切にします  
・常に正しい情報の把握と提供に努め  
・自分が受けたサービスを提供・改善に努めます

## ○取り組みの法人での位置づけ等

事業計画の年度目標に、地域社会のニーズに対応に努めることを掲げ、地域の保護者等に対する子育て支援を行なうこととしている。

## ○取り組みを実施している施設の概要

【施設名】  
ゆうかり乳児保育所  
【施設種別及び利用定員】  
保育所 35名

## ○活動内容

- ◇活動開始年：平成20年5月  
◇活動の対象者：  
保育所を利用していない3歳未満児の子どもとその保護者  
◇活動の頻度・時間：  
月1回～2回 1回当たり2時間

## 活動実施の背景、実施にいたった理由

当保育所では、子育てサポートセンター事業を実施しており、安心できる遊びや相談の場として定着してきた。保護者の抱えている悩みを知る中で、「離乳食は何を食べさせたらいいの？」など、食事についての相談を多く受けた。子育てサポートセンター事業では、保育所を開放しての相談業務で給食体験をすることができないため、地域の子育て家庭の親子に給食体験ができないものか考えた。体験保育も兼ねて行事への参加の呼びかけをする計画に至る。

## 実施内容

『すくすく』と名づけ、法人内の峰山乳児院が実施している地域子育て支援活動事業「おひさまひろば」と連携を行い、保育所を利用していない3歳未満児の子どもとその保護者を対象に、毎月の誕生日会（誕生日を迎える月の子どもを対象とする）、七夕会、クリスマス会、節分、ひなまつり会等の行事の実施内容等のチラシを配布（郵送）する。電話での要予約で先着5組までとし、時間は午前10時から12時までの予定とする。希望により親子で会食にも参加をすることができ、食費として1家庭300円を徴収している。誕生日会では一人ずつに冠と誕生日カードをプレゼントし、その他の行事でも手作りのプレゼントを準備している。

## 活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

保育所の行事の楽しさを親子で感じてもらいながら、保護者同士や保育士との交流の場になっている。食事については、家庭での食事の雰囲気とは違うため、普段とは違う子どもの姿に感動があったり、特別な日を祝う行事食を楽しんでもらうことで、参加者に満足感が得られる様に思う。離乳食の進み具合や好き嫌いについて等の悩みが大きなストレスになっていることがあり、栄養士や保育士が相談に応じている。

子育てについてはそれぞれ悩みはあるが、保護者の方がお

しゃべりの場として保育所に足を運び、短い時間の中にも色々な気づきがある様に思う。

職員は保育に支障のない様に、この時間の中でチームワーク良く進めていく力を身につけることが大切である。

### 今後の課題及び展開

昨年度の反省で、入所児が徐々に増えていく中で、会食の場所には配慮を要したため、クラス毎での食事形態を2歳児と『すくすく』の親子は遊戯室で会食する等、楽しい雰囲気での会食の時間になるように工夫が必要と考えられる。

おやつ作りや遠足、離乳食体験など昨年できなかったことを計画的に実施し、より地域の子育て支援に繋がるよう進めていきたい。

### 主な経費や財源及び人員等

(年間あたり)

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
食費	19,500円	利用者負担額	19,500円
<合計>	19,500円	<合計>	19,500円

- ・取り組みに係わった職員数 2名  
(職種等：保育士、栄養士、調理員)

